

温泉分析書

第 M09023 号-2

(2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg/kg)	ミリバル (mval/kg)	ミリバル% (mval%)
炭酸水素イオン HCO3-	63.6	1.04	6.40
塩化物イオン Cl-	290.5	8.19	50.43
臭化物イオン Br-	0.7	0.01	0.06
硫酸イオン SO4--	336.3	7.00	43.10
陰イオン計	691.1	16.24	100.00

(3) 遊離成分
非解離成分

成分	ミリグラム (mg/kg)	ミリモル (mmol/kg)
メタ亜ヒ酸 HAsO2	0.2	0.00
メタケイ酸 H2SiO3	88.6	1.13
メタホウ酸 HBO2	21.9	0.50
非解離成分計	110.7	1.63

溶解物質 (ガス性のものを除く) 1.170 g/kg

溶解ガス成分

成分	ミリグラム (mg/kg)	ミリモル (mmol/kg)
遊離二酸化炭素 CO2	9.7	0.22
溶解ガス成分計	9.7	0.22

成分総計 1.180 g/kg

(4) その他微量成分

成分	ミリグラム (mg/kg)	成分	ミリグラム (mg/kg)
アルミニウムイオン Al+++	<0.05	ヨウ化物イオン I-	<0.05
マンガンイオン Mn++	<0.05	チオ硫酸イオン S2O3--	<0.1
鉄(III)イオン Fe+++	<0.05	総硫化水素 T-H2S	<0.1
銅イオン Cu++	<0.05	総リン酸態リン T-P	<0.03
水酸化物イオン OH-	0.017		

6 泉質

ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩温泉
(低張性・弱アルカリ性・高温泉)

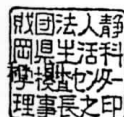
7 禁忌症、適応症等は別表による。

平成21年10月16日

温泉分析機関 静岡県第1号

静岡県静岡市葵区北安東4丁目27番2号

財団法人静岡県生活科学検査センター 理事長 曾布川



1 申請者

伊豆の国市大仁859-5
大仁温泉事業協同組合

2 源泉名及び湧出地

大仁温泉組合泉 大仁6号 (台帳番号 531-006号)
伊豆の国市大仁字沖の原859-7

3 湧出地における調査及び試験成績

- (1) 調査及び試験者 財団法人静岡県生活科学検査センター 谷 雅博
- (2) 調査及び試験年月日 平成21年 9月16日
- (3) 泉温 63.5℃ (調査時の気温 27.7℃)
湧出量 198 L/min (動力 3.7kW 水中ポンプ)
- (4) 知覚的試験 殆ど無色、透明、無味、無臭
ガス発生なし
- (5) 水素イオン濃度 (pH値) 8.0
- (6) 電気伝導率 (EC値) 171 mS/m

4 試験室における試験成績

- (1) 試験者 財団法人静岡県生活科学検査センター 那須野晃亨 谷 雅博 中山貴美子 滝 玲加
- (2) 分析終了年月日 平成21年10月13日
- (3) 知覚的試験 殆ど無色、透明、無味、無臭
- (4) 密度 0.9993 (20℃/4℃)
- (5) 水素イオン濃度 (pH値) 7.82
- (6) 蒸発残留物 1.107 g/kg (180℃)

5 試料1kg中の成分、分量及び組成

(1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg/kg)	ミリバル (mval/kg)	ミリバル% (mval%)
ナトリウムイオン Na+	268.1	11.66	71.89
カリウムイオン K+	19.0	0.49	3.02
マグネシウムイオン Mg++	0.5	0.04	0.25
カルシウムイオン Ca++	80.6	4.02	24.78
鉄(II)イオン Fe++	0.3	0.01	0.06
陽イオン計	368.5	16.22	100.00

2 療養泉浴用の適応症

(1) 療養泉浴用の一般的適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

(2) 泉質別適応症

きりぎず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、動脈硬化症

II 浴用上の注意事項

温泉には老化現象が認められ、地中から湧出した直後の新鮮な温泉が最も効用があると言われているが、それぞれの泉質に適する用い方をしなければかえって疾病に不利に働く場合がある。従って温泉浴用上の注意事項は次のとおりとする。

- 1 温泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましいこと。
- 2 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当り1回程度とすること。その後は1日当り2ないし3回までとすること。
- 3 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間とすること。
- 4 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- 5 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
 - (1) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、始めは3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してもよい。
 - (2) 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
 - (3) 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。（湯ただれを起こしやすい人は、逆に真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。）
 - (4) 入浴後は、湯冷めに注意して一定の時間の安静を守る。
 - (5) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
 - (6) 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
 - (7) 飲酒しての入浴は特に注意する。

(注) 飲用について

温泉飲用に当たっては、細菌検査及びその他の有害物質等の分析検査を実施し、衛生状態の確認が必要です。

詳しくは、保健所に相談して下さい。

温泉利用（浴用）にあたっての注意

分析機関	財団法人静岡県生活科学検査センター
分析書発行年月日	平成21年10月16日
源泉名	大仁温泉組合泉 大仁6号（台帳番号 531-006号）
湧水地又は採水地	伊豆の国市大仁字沖の原 8 5 9 - 7
泉質	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩温泉 （低張性・弱アルカリ性・高温泉）

この温泉を公共の浴用に供する場合には、温泉法、同施行規則及び静岡県温泉法施行細則により、温泉利用許可を必要とします。又あらかじめ温泉成分等の掲示について、保健所長に届出しなければなりません。

（既に利用許可を受けている方も保健所の温泉担当者に相談して下さい。）

温泉浴用の禁忌症、療養泉浴用の適応症及び浴用上の注意は、次のとおりです。

I 温泉浴用の禁忌症及び療養泉浴用の適応症

温泉の医治効用は、その温度その他の物理的因子、化学的成分、温泉地の地勢、気候、利用者の生活状態の変化その他諸般の総合作用に対する生体反応によるもので、温泉の成分のみによって各温泉の生体に対する作用を確定することは困難であるが、温泉浴用の禁忌症と療養泉浴用の適応症はおおむね次のとおりである。

1 温泉浴用の禁忌症

(1) 温泉浴用の一般的禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病（ただし高温浴の場合）、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症（ただし高温浴の場合）、高血圧症（ただし高温浴の場合）、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

(2) 泉質別禁忌症